

第140回春期大会 2021年5月15日(土), 16日(日) オンライン開催

第139回秋期大会に続き、今回も新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催とします。

主催 一般社団法人軽金属学会

後援 公益財団法人軽金属奨学会

協賛 一般社団法人日本アルミニウム協会, 一般社団法人日本マグネシウム協会, 一般社団法人日本チタン協会, 一般社団法人日本塑性加工学会, 公益社団法人日本鋳造工学会, 一般社団法人軽金属溶接協会, 公益社団法人日本金属学会, 一般社団法人日本鉄鋼協会, 公益社団法人日本材料学会, 一般社団法人日本機械学会, 一般社団法人日本ダイカスト協会, 一般社団法人軽金属製品協会, 公益社団法人自動車技術会, 公益社団法人日本顕微鏡学会, 一般社団法人溶接学会, 一般社団法人粉体粉末冶金協会, 一般社団法人資源・素材学会, 日本バイオマテリアル学会, 日本熱物性学会, 日本航空宇宙学会(依頼中)

研究発表講演会

テーマセッション1 「難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発10」

テーマセッション2 「LPSO/MFS構造の材料科学(Ⅳ)」

ポスターセッション 15日(土)

軽金属功績賞受賞講演 15日(土), 16日(日) (一般講演セッション内で実施)

男女共同参画セッション 15日(土) 「身近な無意識のバイアス」

企業招待講演セッション・軽金属企業研究会 15日(土)

機器・カタログ展示 15日(土), 16日(日)

第140回春期大会 事前参加申込

大会参加費：今回より講演申込費を無料化します。それに伴い、学生会員を除く参加者の参加費を2,000円値上げします。(消費税込, 参加申込の方には講演概要集のカラーデジタル版を配布します。冊子版(モノクロ)希望者は別途, 購入してください)

	正会員	学生会員	非会員
第1期事前申込	8,000円	3,000円	12,000円
第2期事前申込	9,000円	4,000円	12,000円

(軽金属学会維持会員会社社員, 協賛学協会個人会員の方は会員扱い)

・事前申込の会員は, 会員マイページより大会1か月前からカラーデジタル版概要集を無期限でダウンロード可能です。維持会員, 協賛学協会個人会員, 非会員の参加者にはID, パスワードを発行し, HPダウンロードサイトから入手可能としますが, HPサイトからのダウンロード期間は大会終了後2週間までとなります。ただし, いずれも参加費の入金確認後でないとダウンロードできません。オンライン開催につき当日の参加申込受付ができないため, 事前申込を2期に分けて(第2期はクレジット決済のみ)受付けることにしました。

大会参加予約申込方法：

軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>「第140回大会」ページで受付けています。個人会員の方は会員マイページにログインしてから参加申込してください。

大会参加費支払方法：

第1期：申込と支払方法選択(クレジット決済も可能)が完了すると, 受付No., 振込先等を明記した「第140回春期大会 参加申込受付メール」が送信されるので, クレジット決済以外の方はその内容に従って参加費の振込みをお願いします。参加費の領収書は入金確認後, 会員マイページから入手いただけます。参加費支払は4月15日までにお願いします。

第2期：参加費の支払いはクレジット決済のみ受付けます。第1期同様, 参加費の領収書は会員マイページから入手いただけます。

第1期事前申込締切：2021年4月15日(木)

第2期事前申込締切：2021年5月10日(月)

・大会プログラムは, 軽金属学会ホームページならびに会誌「軽金属」3月号に掲載します。

概要集冊子版(消費税込, 送料別 ※冊子版はモノクロ印刷)

定価	会員価格
12,000円	9,000円

・概要集の冊子版もご希望の方は軽金属学会ホームページの「刊行物・資料」-「学術図書類」-「その他の出版物」から購入ください。
・概要集電子版のUSBメモリ販売もしています。上記ホームページから購入ください。定価13,000円, 会員価格10,000円。

第140回春期大会講演募集

講演申込締切 2021年1月14日(木) 23:59までにweb申込
 概要集原稿締切 2021年3月8日(月) 13:00 事務局必着
 概要集印刷発行日 2021年4月14日

発表資格：発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は、入会手続きをお願いします。講演大会参加費の支払を必須とします。

講演内容：講演は原則として未発表のもので論文としてまとめたもの

講演形式：口頭発表（一般セッション、テーマセッション）、またはポスター発表（ポスターセッション）

概要原稿：海外からの参加者にも発表内容が伝わるよう、英文ABSTRACT(100 words)、図表および図表のキャプションは英文表記。詳細は「概要原稿の書き方」を参照

発表方法：(1) 口頭発表 Web会議ツールを利用
 ①講演時間は、原則として、発表15分、討論5分
 ②英語での発表も可能
 (2) ポスター発表 ポスターごとに設けたWeb会議ツールを利用
 ①在席時間は2時間
 ②英語ポスター発表は使用言語は質疑応答含め英語のみ

申込方法：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/> から申込
 (0) 会員マイページに新規登録する
 (1) マイページにログインし、「イベント」-「講演大会」-「募集中の大会」をクリック（マイページにログインしないと講演申込ボタンが表示されない）
 (2) 「講演申込」画面の内容に従い、講演申込を行う
 (3) 講演形式を、口頭発表／ポスター発表（日本語）／ポスター発表（英語）／口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよい／テーマセッション から選択する。口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよいを選択した場合は、続いて講演分類を選択する。テーマセッションはT1,T2から選択。
 (4) 学生は申込時の学年（B：高専，専攻科，B4,M1,M2,D1,D2,D3，PD：博士研究員）表記とする。
 (5) 続いて大会参加予約申込をする。
 (6) 申込が完了すると、受付No.を明記した「第140回春期大会 講演申込受付メール」、受付No.、振込先等を明記した「第140回春期大会 参加申込受付メール」が送信される。
 (7) 講演申込内容の申込締切日までは会員マイページの「大会 講演履歴」ページで修正可能。

※講演発表に伴い入会される方は、12月20日までに入会申込書とともに本年度分会費を送付する。送付の際は、現金書留にて、入会申込書とともに本年度分会費を同封のうえ、「講演申込のために会員番号の事前連絡を希望」とのメモを必ず添付する。

※第127回大会より講演分類と選択方法を変更しました。大分類（対象材料）および5つの小分類（用途、現象、検出・解析方法、目的、材料形状）からそれぞれ該当するものを選択ください。従来と異なる切り口でのプログラム編成を考えています。

※ポスターセッション充実の目的は、口頭発表によるパラレルセッションを可能な限り解消するためであり、50件程度のポスター発表を見込んでいます右側のポスター発表実施要領をご覧ください。多くのポスター発表申込を期待しています。

講演申込費：今回より講演申込費を無料化します。

大会参加申込：一般講演、テーマセッション、ポスターセッションの発表者は、講演申込と同時に参加申込いただきます。大会参加費はクレジット決済、郵便振替または現金書留で4月15日(木)までにお支払いください。
 ※講演申込と同時に参加申込ができるようになりますので、講演申込は必ず発表者が行ってください。

問合せ：一般社団法人軽金属学会 事務局
 〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル6階
 Tel: 03-3538-0232 Fax: 03-3538-0226 E-mail: shomu@jilm.or.jp

ポスター発表実施要領

軽金属学会講演大会のポスターセッションを充実させています。
 * 第138回大会より講演大会の国際化の一環として、英語で質疑応答を行う、英語ポスター発表枠を新設（国籍は問わない）
 * 優秀ポスター発表賞および優秀英語ポスター発表賞受賞者を軽金属学会会長名で表彰
 * 大会翌日以降、軽金属学会ホームページに表彰者を掲示
 * 表彰者を学会誌「軽金属」および「学会ホームページ」に写真入りで紹介
 * 学界、業界を問わず、35歳以下の正会員からのポスター発表も表彰の対象

実施方法

(1) 対象者：正会員、学生会員の希望者。ただし、同一発表者による複数のポスター発表はできない。
 (2) 口頭発表と同様、概要原稿を提出する。英語ポスター発表者の概要原稿本文は和文、英文を問わない。
 (3) ポスターは1ページのPower Pointあるいはpdfにまとめ、通常のA0サイズのポスターと同様の解像度とする。
 (4) ポスター作成に当たっては、表題には必ず英文表題を並記し、図表および図表のキャプションは英文表記とする。英語ポスター発表はすべて英語表記とする。
 (5) 在席時間は2時間。

テーマセッション講演募集

下記のテーマセッションでの講演を申込むと、世話人が基調講演と一般講演をプログラム編成し、座長を選任し、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供します。

テーマセッション1

「難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発10」
 Latest technology development on flame-retardant wrought magnesium alloys for manufacturing structural parts 10

趣 旨：

汎用マグネシウム合金（Mg-Al系合金等）にカルシウムを添加した合金（難燃性マグネシウム合金）は、汎用マグネシウム合金よりも著しく高い難燃特性を有するため、高い安全性が必要とされる鉄道車両構体等の輸送機器や建築部材等への適用が検討されつつあります。第127～138回大会では、「難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発1～9」が企画され、合金設計技術、プロセス技術、信頼性評価技術、計算科学・データ科学、新機能発現等につ

いて活発な議論が行われました。本テーマセッションにおきましても、難燃性マグネシウム合金展伸部材を作製するための最新の研究成果を広く募り、討論を通じて、今後の方向性を継続的に探ります。

世話人：

鎌土重晴，宮下幸雄，中田大貴（長岡技術科学大学），榎 学（東京大学），向井敏司（神戸大学），瀧川順庸（大阪府立大学），行武栄太郎（茨城県産業技術イノベーションセンター），清水和紀（三協立山(株)），野田雅史（権田金属工業(株)），井上正士（不二ライトメタル(株)），吉田克仁（住友電気工業(株)），石川 武（(株)総合車両製作所），山田晃司（大日本塗料(株)），田口 真（川崎重工業(株)），森 久史（(株)UACJ），駒井 浩（(一社)日本マグネシウム協会），伊藤海太，佐々木泰祐（物質・材料研究機構），千野靖正，斎藤尚文，中津川勲（産業技術総合研究所）

テーマセッション2

「LPSO/MFS構造の材料科学（IV）」

Materials Science on Long-period Stacking Ordered Structure and Mille-feuille Structure IV

趣 旨：

我が国で発見されたLPSO型マグネシウム合金の研究が基礎と応用の両面で進められている。特に、LPSO構造のキンク強化は新しい材料強化法として注目されており、日本発の新しい学術領域として発展している。最近の研究の進展により、LPSO相をより広義に捉えた“ミルフィーユ構造”，すなわち、硬質層と軟質層の周期性に関わらない層状構造においてもキンクが形成され、強化することが明らかになってきた。ミルフィーユ構造のキンク強化は、マグネシウム合金にとどまらずチタン合金やアルミニウム合金などの軽金属材料のみならず、セラミックス材料や高分子材料への展開が精力的に試みられている。本テーマセッションでは、軽金属材料を中心に、LPSO構造を含めたミルフィーユ構造におけるキンク形成およびキンク強化に関わる講演を募集し、キンク強化の学理を議論したい。

世話人：

河村能人（熊本大学），阿部英司（東京大学），相澤一也（JAEA），藤居俊之（東京工業大学），斎藤 拓（東京農工大学），三浦誠司（北海道大学），中島英治（九州大学）

参加費の振込みについてお願い

事務局での入金確認のため、申込者ご本人以外、例えば、大学、企業等から参加費を銀行振込みされる場合は、必ず、①申込者名および申込受付No.、②振込日、③振込金額、をFax：03-3538-0226またはE-mail：shomu@jilm.or.jpにご連絡ください。ご協力を宜しくお願い申し上げます。